

子供たちと考えた「人権講話！」

今、龍野小学校は人権旬間です。そこで、14日(月)、人権講話をZOOMで行いました。今回の講話の内容は、熊本県の3年生の子供が書いた作文です。作文を書いた女の子は、体育が苦手です。体育の授業は跳び箱です。跳び箱でうまくいかず、3回失敗をしました。そのとき、周りから笑い声が聞こえてきました。かずまくんが「笑うな」とみんなに注意し、それから応援や励ましの声にかわり、女の子が初めて跳び箱を飛べたという内容です。



このことは、学校生活でも起こりえることです。子供たちに、みんなに笑われた時の女の子の気持ちを考えてもらいました。子供たちから、「くやしい」「見られたくない」「ふざけて飛んでいるのではない。笑わないでほしい」「学校に来たくなくなる」など、女の子の気持ちを考えました。



「最後に、みなさんは、笑う人ですか？応援する人ですか？ふりかえてみましょう。」と伝えました。子供たちはとても真剣に考え、たくさんの感想を書いてくれました。その一部を紹介します。

- *これからはおうえんをいっぱいふやしたいです。わけは、いわれたらわたしがいやなきもちになるからです。
- *さいしょできなかったけどできるようになってすごいなあと思いました。ぼくはおうえんします。ぼくもてつぼうがにがてだからがんばります。
- *これまでの自分は、心の中で笑う人でした。でもさいきんは、人の気持ちを考えて行動できるようになってきました。これからもそれを続けたいです。
- *今日、人権講話を聞いて、私は跳び箱など、できないことは、みんなや私だってあると思いました。これまでの自分は応援する人でした。これからは、かずま君みたいに「わらったらだめだ」と勇気を出していえる人になりたいです。
- *僕は女の子が失敗して笑われていたときに、かずま君が「わらうな」と言ったからとても勇気があるなと思いました。僕たちのクラスは、みんな仲間だし、失敗しても「次々」「きりかえよう」など言ってくれるので安心です。だから僕もいつも優しい言葉を言っています。
- *今度から球技など失敗した人に、文句を言うのではなく、「だいじょうぶ」「ナイストライ」など声をかけたいと思いました。わけは、自分もミスをするからです。
- *今日の人権講話を聞いて、これまでの自分は笑う人でした。サッカーの時友達がーしょうけん命頑張って失敗してしまった私は笑ってしまったから、こえからは応援して元気づけようと思いました。

子供たちが、とても真剣に考えてくれた様子が感想から伝わってきました。今までの自分を振り返り、これからどうしたいかなどたくさん考えてくれた子供たちです。各学年でまた人権学習に取り組んでいきます。

動植物園に行きました。1年 見学旅行

11日、1年生が動植物園に見学旅行に行きました。1年生は、動物をみたり、ふれあったり、乗り物に乗ったりしました。初めての見学旅行でしたが、自分たちで並んだり、お礼を言ったりなど、考えて行動できたようです。天気にも恵まれ、たくさんのことを体験した1日になりました。とても楽しかったようで、帰りのバスでは熟睡していた子供たちでした。

